資料５

「医療的ニーズの高い障害児者等に対する支援のあり方」の検討について

平成２９年２月２３日

障害福祉課

１　趣　旨

平成２８年５月、改正障害者総合支援法等が成立し、日常生活を営むために医療を要する障害児の支援に関して、保健、医療、福祉等の連携の一層の促進を図るよう努めることとされたため、本県における支援のあり方等について、あらためて幅広く検討するもの。

２　検討委員会の概要

1. 設置期間　　平成２８年１１月～２９年３月
2. 委員構成　　医療、福祉に関する有識者で構成

　　　　　　（「在宅医療」と「重症心身障害児者、難病」の分野から選任）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 所　　属　　等 | 役　職 | 氏　名 |
| 長  会 | 心身障害児総合医療療育センター（東京都） | 所長 | 北住　映二 |
| 在宅医療等 | 富山県医師会 | 会長 | 馬瀬　大助 |
| 富山県訪問看護ステーション連絡協議会 | 会長 | 前田　八千代 |
| 富山県保健所長・支所長会 | 会長 | 黒澤　　豊 |
| 富山大学医学部（富山市医師会　理事） | 臨床教授 | 八木　信一 |
| 重症心身障害  児者・難病 | 独立行政法人国立病院機構富山病院 | 院長 | 嶋　大二郎 |
| 社会福祉法人海望福祉会障害者支援施設ひゞき | 総合施設長 | 大﨑　雅子 |
| 富山県重症心身障害児（者）を守る会 | 会長 | 藤澤　喜一 |
| 日本ＡＬＳ協会富山県支部 | 事務局長 | 織田　昌代 |

1. 検討の経過等

・第１回　平成28年11月７日（月）　　現状と課題について

・第２回　平成28年12月21日（水）　 論点整理及び今後の取組みの方向性について

・第３回　平成29年１月20日（金）　　支援のあり方（素案）

（・第４回　平成29年３月29日（水）　　支援のあり方の取りまとめ）

３　報告書（素案）の概要（今後の取組みの方向性）

・入所待機者や、今後重度化、高齢化していく障害者や難病患者に対応するため、必要な入所定員（30床程度）を確保すること。

その際、児者一貫支援が可能となる県リハビリテーション病院・こども支援センターで対応することが望ましいこと。

・障害児者が身近な地域で医療的ケアを受けられるよう、福祉型の通所施設に対して必要な支援を行うこと。（医療備品や看護師の配置支援等）

・障害児者や家族等からの相談の受付けや、医療、保健、福祉、教育、保育等による連絡調整を行う体制を整備すること。

・医療的ケアに関する研修の実施を通じて、人材の育成を幅広く行っていくこと。